**地域活性化委員会**

委員長　　　　杉谷　俊輔

副委員長　　　藤井　浩太

**1）基本方針**

地域社会では、様々な価値観が生まれ、多様性を重視した変化への対応が求められています。その中で協働と共創が生む力が、多様性を活かしたまちづくりには不可欠です。協働と共創が生む力を身に付け、多様性を活かす教育やまちづくりが三泗地区でも重要視されています。私たち四日市青年会議所は、自らが多様性について学び、未来を担う青少年を中心とした地域に住まう方々に、協働と共創についての機会をもたらす必要があります。

四日市市では子どもたちの生きる力と共に生きる力について教育を進めています。子どもたちへ多様な価値観を伝えていくためには、まず私たち青年が多様性と共生について学び直し、より理解を深めることが重要です。新たな理解は新たな発見へと結び付き、潜在しているまちの魅力を引き出すきっかけとなります。次に、四日市青年会議所と青少年がパートナーシップを結び活動を展開していきます。パートナーの青少年を中心に協働、共創から発揮できる力を私たちが伝え、固定観念にとらわれることなく、個人や集団が持つ違いについて尊重することを学ぶことで、青少年の多様な価値観を育みます。また、保護者の方をはじめ大人世代の方々には青少年の育成に新たな視点を持っていただき、子どもの成長過程に様々な機会を提供することができます。そして、青少年たちが学び得た協働、共創の力を実践し、地域の発展に貢献できることを体感していただくことで、自身の成長へとつなげていただきます。サルビア基金交付事業では、青少年育成に関係する地域団体へ基金交付を行い、地域発展に役立てられる新たな試みとなる運動を展開していきます。

青少年の多様性溢れる育成と成長は、まちの発展に貢献し、サルビア基金は地域社会の発展と青少年をつなぐ架け橋となります。そして、四日市青年会議所は多様性を尊重し、皆が共に生きる社会を実現させ、誰もが自分らしく輝く地域社会をつくる組織となります。

**2）事業計画**

1．3月度例会 3月10日

2．8月度例会　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　8月9日

3．10月度例会　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 10月 11日

4. サルビア基金積立活動　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　 　1月～9月

5．サルビア基金交付先団体の選定　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　1月～9月

6. サルビア基金交付事業　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　 10月11日

7. 対外事業窓口（海洋少年団、四日市港まつり実行委員会）

8．出向者への支援　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　通年

9．同好会への支援　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 通年

**3）事業予算**  318,800円

**4）委員会開催予定日**毎月第2火曜日

第二回正副理事長予定者会議　2025年10月15日(水)

意見1：L1の多様性が育まれており、とありますが、ここに記載する時点で既に育まれているという認識でOKですか。

対応1：L1の文章を全体的に見直し訂正しました。

意見2：L2の経済や行政、青少年育成に関する変化への対応とはどういったイメージでしょうか。

対応2：多様性を重要視し、仕事、教育、生活のスタイルを考え直していることが多いというイメージでしたが、文章を見直し一考しました。

意見3：L3の人口減少や超高齢化社会は、停滞という表現でよいでしょうか。深刻化しているイメージなので。

対応3：L3の文章を全体的に見直しました。

意見4：L7の重要性について取り組みます。とありますが、重要性をどうするのでしょうか。

対応4：文章を見直し一考しました。

意見5：L8の新たなまちの魅力を発見～挑戦します。は、いつやる予定ですか。

対応5：文章を見直し一考しました。

意見6：人口減少や超高齢化社会がどのようにつながっているのか教えてください。

対応6：文章を見直し一考しました。

意見7：L13の習慣とはどういったものを考えているか教えてください。

対応7：文章を見直し一考しました。

意見8：L4にある「まだまだ」は口語的かと思います。「未だ」でも通じるのではないでしょうか。

対応8：文章を見直し一考しました。

意見9：L1,L4\_我々と私たちが混在しております。

対応9：文章を見直し一考しました。

意見10：L2 青少年の育成において求められる対応とは何を指し示していますか。

対応10：文章を見直し一考しました。

意見11：L1～L2が背景の課題になると思いますが、地域活性にはまちの課題も必要です。それはどこにありますか。また　街と青少年の関係性を教えてください。

対応11：文章を見直し一考しました。まちと青少年の関係性について青少年が住みやすく、育成もしやすいまちづくりという点で合致すると考えています。

意見12：L3にある停滞しているとは何がどう停滞しているのでしょうか。

対応12：文章を見直し一考しました。

意見13：L4の理念に立ち返る必要がある理由を教えてください。

対応13：文章を見直し一考しました。

意見14：L4～L5が必要な理由と、それが上段の課題のどの部分に関わってくるのか教えてください。

対応14：文章を見直し一考しました。

意見15：L3そもそもまちが発展していない理由は人口減少や超高齢化社会が問題なのでしょうか。変化に応じれていないことなどが問題ではないのでしょうか。

対応15：文章を見直し一考しました。

意見16：L5我々はすでに常に新たな挑戦をし続けている組織ではないのでしょか。

対応16：文章を見直し一考しました。挑戦ということばを全体的に削除しました。

意見17：L4～L5　ここの文章の職務内容が組織に関する内容になっており、地域活性化委員会として必要な職務分掌に合っているんでしょうか

対応17：文章を見直し一考しました。

意見18：L6の書き出しが各委員会で違う。

対応18：文章を見直し一考しました。

意見19：L6 発信するだけでまちへの愛着が増進されるのでしょうか。

対応19：文章を見直し一考しました。

意見20：L7後世に～　これは背景のどこにあたりますか。

対応20：文章を見直し一考しました。

意見21：重要性に取り組むとは、どういったことなのでしょうか。重要性を理解するとかなら分かりますが、重要性の何に取り組むのか教えてください。

対応21：文章を見直し一考しました。

意見22：L9 挑戦でいいのか、ここの書き方は○○をして、その結果を書くべきであり、しようとすることを書くわけではない。

対応22：文章を見直し一考しました。

意見23：L10 例会内で行動までさせる想定なのでしょうか。

対応23：本文を修正していますが、例会では気づきと学びを提供することを考えていますので、その先の行動については各自、各家庭などで実践していただくことになると考えます。

意見24：青少年事業はどこで行うのか、青少年に対する内容、課題解決が明らかに少ないように見えるが、どう考えているのか。

対応24：青少年事業は10月で想定しています。青少年に対する内容、課題については「多様性の理解と共生」についてで、多様性を間違って解釈すると偏見やいじめ、差別といったものの原因をつくります。そうではないということを学ぶ機会として考えています。

意見25：青少年の課題とそれに対する手法、目指すべき姿と町との関係性を教えてください。

対応25：基本方針内に反映しました。

意見26：L12 ダイバーシティにむずびつける理由と、背景のどこにつながるのか教えてください。

対応26：文章を見直し一考しました。

意見27：L11 変化が　発展の追い風になるのか。

対応27：文章を見直し一考しました。

意見28：L16 主軸とあるが、何か他のことも行う予定なのか

対応28：文章を見直し一考しました。

意見29：L17 基金を交付することでなぜ規模が大きくなるのか、また規模を大きくすることが重要なのか。効果を高めるとか、青少年のためになり、メンバーの成長にもつながることに寄付すべきではないのか。

対応29：文章を見直し一考しました。

意見30：L20 目指すべき姿で、信じているのは違うのでは。こうなっていると記載を

地域は通年ではなく、各例会で目標達成していくようですが、どのようなホップステップジャンプで実現するのか、そのイメージはあるのか。

対応30：基本方針本文を見直し修正しました。

意見31：理事長所信からも多岐に渡る課題があるのは理解できるがまだ整理できていない。

キーワードをちりばめているだけで、どのような関連性があり、どうつながっているのかを考えて記載が必要。

対応31：文章を見直し一考しました。

意見32：サルビアについて、300万使うようだが、うらは取ってあるのか、内訳も教えてください。

対応32：確定ではありませんが、参加促進としてインパクトのある有名人をお呼びするための企画演出費としています。

意見33：L32　改行があるが他の委員会と記載が違う。事業予算の数字の文字の大きさが少し大きい。

対応33：修正しました。

第二回理事予定者会議　2025年10月29日(水)

意見34：子どもたちの生きる力と共に生きる力について教育を進めています。というところはどこからの情報でしょうか。

対応34：四日市教育委員会の教育白書をエビデンスとしてみています。

意見35：8月の会場は体育館ですか、空調対策はできていますか。

対応35：空調完備を含めて体育館開催の予定をしています。

第三回正副理事予定者会議　2025年11月12日(水)

意見1：何々のためにの語順が必要なので整理してください。(フォーマット通りの語順の方が分かりやすくないですか)

対応1：ご指定の通り、語順に沿って修正しています。

意見2：青少年の定義を教えてください。

対応2：幼時から高校生までの方々を対象と考えています。

意見4：L3～L4の四日市でも大きなテーマとなっています。の内容について青年会議所として何ができるのか考えてみてください。

対応4：多様性や共生について、その中でも共創、協働にフォーカスしてその力の大きさについて青少年に教え伝えていくことを目的としています。

意見5：L6～L8四日市では子どもたちの生きる力と共に生きる力～保護者の方は青少年の育成に新たな視点を持っていただき、子どもの成長過程に様々な機会を提供することができます。←部分的に背景に取り入れられるのではないでしょうか。

対応5：背景目的について深堀し、共創協働に焦点をあてて再修正いたしました。

意見6：対象者をあまり青少年と保護者に絞りすぎないようにしてみてください。

対応6：対象者を青少年とその教育側に関係する方と修正しました。

意見7：交付先金額、交付金額がさみしいので見直してみてください。

対応7：交付金額を100万円と見直しました。

意見8：色々な団体巻き込みましょう。対内であっても各諸団体は巻き込めるのではないか。(生徒会や市、NPOなど)

対応8：行政関係、NPO団体など3月の例会から巻き込んで1年間の担当例会、事業の組み立てを計画しています。

意見9：例会とサルビアがセットになることがあるが、例会には例会の学び、事業は人に与えられる影響というのが強いイメージがある。差別化をするのかしないのかを明確にしてください。

対応9：差別化はせず、一本化するように計画します。

意見10：例会とサルビアわけるならそれぞれでそれぞれの項目金額を按分しますか。

対応10：按分せずこちらも一本化で考えています。

第三回理事予定者会議　2025年11月20日(木)

意見1：3月度例会は8月度例会に向けての例会になりますか？どのような講師を呼ばれる予定でいますか？

対応1：8月度例会につながる例会とします。四日市市子ども未来部子ども未来課の山路隆之様をお招きする予定です。

意見2：基本方針本文に「多様」という言葉が多くあるので、読みやすくまとめてみてください。

対応2：「多様な」という表現を一部訂正しました。「多様性」という言葉については残しています。多様性を2026年度のテーマとして取り上げているため。

第四回正副理事長予定者会議　2025年11月27日(木)

意見1：教育者って何、範囲絞らないでほしいし、教育者の方が詳しい可能性高いのではないのでしょうか。

対応1：教育者とはあえて記載しませんでした。範囲を絞らずに親世代、祖父母世代、その他青少年たちに教育（勉学以外も含め）をする側の方々を指して「教育の側の方々」と記載しています。

意見2：背景の語順が違う。多様性がある→共生できている→その先の協働共創ができればもっと良くなる →行政は縦割り、学校も結局個人の成績、企業も個人評価→無報酬で誰かを評価する必要がないJCだからこそ企業や行政にできない協働、共創の重要性を伝えることができる。の順

対応2：語順を揃えて、背景の内容について見直しました。

意見3：最後の3行が理事長所信、綱領からの引用なので委員会としての言葉に変更してください。

対応3：引用を差し控え、訂正しました。

意見4：文中の「新たな」とか「様々な」とかオブラートに包んだ文言に理由があれば具体的に記載。

対応4：「新たな」については潜在的なまちの魅力を引き出すものとしてまだ不確かなものなので抽象的ですが、そのように表現しました。「様々な」については削除し文章を見直しました。

意見5：未知への挑戦にあたる部分を最後に記載するといいかも。なぜ協働と共創を引っ張ってきたかをより深く考えてください。

対応5：基本方針最後の3行を見直しました。

意見6：公募先選定の内容をスケジュールに記載してください。

対応6：事業計画に追記しました。

意見7：10月度例会の内容が詳細を書きすぎているので、事業概要になるような書き方をしてください。

対応7：内容の一部を削除しました。

意見8：サルビアの金額本当に確認してほしい。

対応8：前回の指摘事項で四日市青年会議所として100万の給付を行うことにインパクトがあるという内容に賛同し、委員会としても、地域への貢献として四日市青年会議所をアピールするためにこの金額を設定しました。

意見9：2行目「しかし」とありますが、前後の文が逆説になっていないように見えます。

対応9：文章を見直して訂正しました。

意見10：3行目「四日市」としておりますが、我々の活動範囲は三泗地区になると思います。朝日川越菰野に対しては どのように考えておりますでしょうか。

対応10：三泗地区で変更訂正しました。

意見11：9行目「また」とありますが、また以降の文章は前文から続いているのでしょうか。ここだけ文章が独立しているように読み取れます。

対応11：「そして」に訂正しました。

意見12：10行目前も伝えたかもですが、 ○○するために、○○をし、○○になります。といった流れでなければ この手法をすべき理由が分かりません。

対応12：手法の文章を見直しました。

意見13：11行目も何のためにするのでしょうか

対応13：意見12と同じく訂正しました。

意見14：13行目 教育側とはどこの方を指しているのでしょうか。また教育者は我々よりも専門的な知識がある中 で、四日市青年会議所がどうやって新たな視点を持ってもらうのか、また成長過程に様々な機会に単年度制を採用している我々がどう提供するのか教えてください。

対応14：教育者、教育側という文言は削除しました。

意見15：14行目共創と協働がどのようにまちづくりにつながるのか教えてください。

対応15：例えば、違う個性を持った子たちがまちの課題について協働し考え、解決案を共創する（一人では思いつかないような発想を出し合う）などを考えています。

意見16：17行目 事業拡大という言葉に違和感があります。青少年育成に関係する団体は利益目的なのでしょうか。 子どもたちのために使うお金が事業拡大と表現することに違和感があります。

対応16：地域発展という言葉に訂正しました。

意見17：ホップステップジャンプの関係性を教えてください。

対応17：3月は私たちがまず協働と共創から発揮できる力について学び、他者へ伝えられるようになります。そして8月に青少年たちへ向けて私たちが学び得たことを伝え、実際に協働、共創を体感していただきます。さらに10月は地域の方々（青少年を中心に大人世代まで）に皆が協働して共創することでまちづくりや魅力発信に関する多様な価値観を理解し実践していただくことで地域の活性化につなげていただきます。

意見18：背景\_課題が明確でないように思います。

対応18：背景の行を見直し、文章を訂正しました。

意見19：共創、協働のどのような機械が必要だと考えますか。

対応19：個性や価値観が違う方々が同じテーマや課題、または制作物についてたくさんの意見や手法を出し合い、皆の意見が取り入れられた一つの完成物をつくる機会をイメージしています。（青年会議所で例えるのであれば例会や事業の立案など）

意見20：共創、協働に関してどのようなことをやっていくか、イメージはありますか。

対応20：対応19と同様の考え方です。

意見21：全体的ですが。「四日市」よりも「四日市市」の表現のほうがベストだと思います。

対応21：四日市市に訂正しました。

意見22：全体的に読むと青少年に偏りがみられるイメージです。まちづくりの部分はどこにあるのでしょうか。

対応22：一部手法のところでまちの魅力を引き出すと触れていますが、青少年がまちの未来を担う人財であるので協働と共創について学び、その力を地域の発展のために発揮できるようになることを1年間の目的として考えています。

第四回理事予定者会議　2025年12月8日(月)

意見1：なし。

対応1：なし。